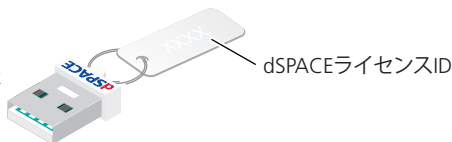


CmDongle リビジョン 2-xxxx の交換

目的	2014 年 11 月 (dSPACE Release 2014-B) から 2015 年 10 月の間に出荷された CmDongle リビジョン 2-xxxx は、同梱のリビジョン 3-xxxx ドングルに交換する必要があります。
交換の理由	<p>CmDongle リビジョン 2-xxxx の各カバーの堅牢性に、不安要素が見受けられる場合があります。たとえば、USB ポートから dongle を取り外すときに、特定の状況下でタグ付きのカバーが折れ曲がることがあります。</p> <p>このような損傷を回避するために、dSPACE では、改善した CmDongle リビジョン 3-xxxx を 2015 年 10 月から出荷しています。dongle カバーの堅牢性が著しく向上し、dSPACE Release 2017-B 以降で必須の最新のライセンス機能もサポートしています。新しい CmDongle は、ハードウェア品質が向上しているとともに、dSPACE ソフトウェアの将来のアップデートにも対応します。</p>

CmDongle リビジョン 2-xxxx
- 白のコネクタ
- シリアル番号: 2-xxxx *



CmDongle リビジョン 3-xxxx
- 赤のコネクタ
- シリアル番号: 3-xxxx *



* シリアル番号は、ソフトウェアでのみ確認することができます
(Dongle Migration, dSPACE Installation Manager, CodeMeter Control Center など)。

注記

- 新しい Dongle をお受け取りの後は、古い Dongle を改善された新しい CmDongle リビジョン 3-xxxx に直ちに交換してください。直ちに交換することにより、上記の損傷の危険のみでなく、新しい CmDongle を紛失する危険も最小限にすることができます。Dongle をお受け取りの後に紛失された場合、dSPACE では Dongle の無料交換は行っておりません。
- WibuKey Dongle (dSPACE Release 2014-A 以前で配布) には影響はありません。これらの Dongle を新しい CmDongle リビジョン 3-xxxx に移行することはできません。

CmDongle を交換するには、ライセンス情報 (CmDongle リビジョン 2-xxxx に格納) を移行する必要があります。出荷される新しい CmDongle リビジョン 3-xxxx には、ライセンス情報は含まれていません。dSPACE では、移行に使用する dSPACE Dongle Migration ツールを提供しています。dSPACE の Web サイト (www.dspace.jp/go/donglemigration) からダウンロードいただけます。

Dongle 移行の前提条件

CmDongle を移行するには、ご使用のホスト PC が次の要件を満たしている必要があります。



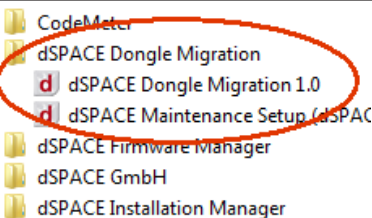
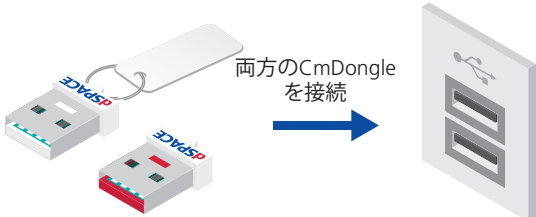
- ホスト PC は Windows 7 搭載である必要があります。dSPACE Dongle Migration ツールは独立したツールであり、ホスト PC にその他の dSPACE ソフトウェアがインストールされている必要はありません。
- 古い Dongle と新しい CmDongle を接続するために、未使用の USB ポートが 2 つ必要です。
- 移行プロセスでは、所定の dSPACE サーバへのインターネット接続が必要です。

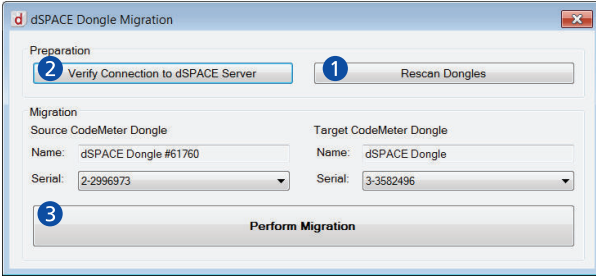
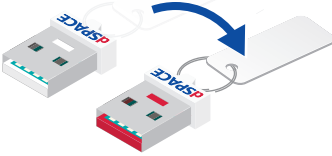

注記

dSPACE Dongle Migration ツールでは、HTTPS プロトコル、ポート 443 および Windows デフォルトのプロキシ設定を使用して、dSPACE サーバと通信します。dSPACE Dongle Migration ツールのインターネットアクセスを許可するよう、ローカルのファイアウォールや IT 機器を設定する必要があります。

詳細なステップ

次の表は、ワークフローの詳細なステップを示しています。

ステップ	作業
1	<p>www.dspace.jp/go/donglemigration から、dSPACE Dongle Migration ツールをダウンロードします。</p>  <p>Install_DongleMigration.exe</p>
2	<p>dSPACE Dongle Migration をご使用のホスト PC にインストールします。</p>  <p>Install_DongleMigration.exe</p> <p>セットアップでは、最新の dSPACE Installation Manager もホスト PC にインストールされます (最新は dSPACE Installation Manager 4.1)。</p>
3	<p>[スタート]メニューから[すべてのプログラム] – [dSPACE Dongle Migration] – [dSPACE Dongle Migration 1.0]を選択します。</p>  <p>CodeMeter dSPACE Dongle Migration dSPACE Dongle Migration 1.0 dSPACE Maintenance Setup (dSPACE) dSPACE Firmware Manager dSPACE GmbH dSPACE Installation Manager</p>
4	<p>移行する CmDongle をホスト PC に接続します (1 つの CmDongle リビジョン 2-xxxx および 1 つの CmDongle リビジョン 3-xxxx)。</p>  <p>両方のCmDongleを接続</p> <p>移行に関連する 2 つの CmDongle のみを接続します。これにより、 dongle の混同を回避することができます。</p>

ステップ	作業
5	<p>ライセンス情報を移行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ドングルを再スキャンします。 2. dSPACE サーバへのインターネット接続を確認します。 3. 移行を実行します。  <p>接続された CmDongle が認識され、関連する GUI フィールド (Source、Target) に自動的に表示されます。</p>
6	<p>ドングルタグを CmDongle リビジョン 2-xxxx から新しいドングルに切り替えます。</p> 
7	<p>CmDongle リビジョン 2-xxxx を使用することはできなくなりました。電化製品ごみとして廃棄します。</p> 

移行プロセスの中断

移行プロセスが中断された (dSPACE サーバへの接続の切断などにより) 場合、ライセンス情報は消失せずドングルも破損しません。中断の理由を探して、それを解決してください。その後、移行を再開します。移行が正常に終了した場合のみ、古いドングルが使用できなくなります。

dSPACE へのお問い合わせ

dSPACE Japan 株式会社

Web:

<http://www.dspace.jp>

テクニカルサポート:

support@dspace.jp